

オンライン授業のはじめかた

分散授業・ハイブリッド授業・オンライン授業

簡単に取り組める実践がいっぱい！

実践編



動画での説明は
[こちら](#)

codeTakt



目次

分散授業スタイル

01

ハイブリッド授業スタイル

02

オンライン授業スタイル

03~05

すぐに使える「課題テンプレート」

06

「課題の複製」で毎日使える！

07

まなびポケットやGoogleとの連携

08

参考資料：活用ライブラリ

09

分散登校スタイル クラスをA/Bの半分に分けて登校

「誰でも受講」でA・Bグループの 児童生徒を分けて登録する

- ・受講生を「受講コード」で登録させる
- ・受講生を先生がチェックボックスで選んで追加する。

- 授業枠を分けることで、子ども達は入口がわかりやすくなる
- Aグループの問題を、Bグループの子は見えない
- A/Bの子も達で学習の交流をすることはできない



動画での説明は
[こちら](#)

schoolTakt

授業の作成

今年度の担当授業を作成します。

校舎*
全校舎

学年*
小5

クラス*
誰でも受講

科目*
国語

授業名
分散登校・Aグループ 10 / 20

*必須項目

キャンセル 作成

単元で分けて、A・Bごとに課題を配布する

授業枠の下部にある「単元を作成する」で、Aグループ・Bグループを作成する。

- 授業枠を増やす必要がない
- 段が分かれていることで見やすい
- A/Bの子も達がどちらの課題も開けてしまう



A・Bごとに課題を分けて配布する



Aグループが登校する日に、「Aグループの課題」を配布し、Bグループが登校する日に、「Bグループの課題」を配布する。

- 「課題の複製」で同じ課題を増やせる
- 協働学習の交流を分けることができる
- A/Bの子も達でどちらの課題も開けてしまう

同じ課題で取り組ませる



同じ課題で、A/Bの子も達が学習する。

- ① Aグループの日に、Aグループの子も達が学習し、交流する。
- ② Bグループ日に、Bグループの子も達が学習し、交流する。
- ③ A/Bの子も達は、お互いのキャンパスを見合うことができるので、分散登校で会うことができなくても、学習の交流をすることができる。

▲Aグループの子も達が学習を終えた後、「課題提出」をさせておくと、先生は並び順で「提出時間」から並び替えると、A/Bグループを分けて表示することができる。また、手動でキャンパス画面をドラッグして並び替えることができる。

ハイブリッドスタイル クラスの半分がオンラインスタイル

オンライン授業でも転用可能

課題とzoomのURLを配布



- ① 教室を映すカメラを設置し、zoomに接続
- ② 家から参加する子ども達は、授業枠内にある「リンクの共有」で、zoomに接続
- ③ 課題を「共同閲覧モード」で配布し、子ども達が交流しあう

【活用例】

① 自分のペースで問題を解こう
分からない児童は、「わからない」ボタンを押して、意思表示します



動画での説明は
[こちら](#)

schoolTakt

② タブレット端末で板書しよう
先生メモに先生が書き込み、子ども達は、自分たちの端末内で先生の書き込みを読むお琴ができます



動画での説明は
[こちら](#)

schoolTakt

国語の授業イメージ

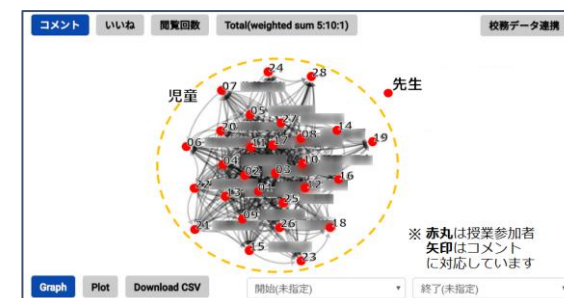
- ① ノートなど作品を写真に撮り
スクールタクトに貼り付け

1枚の写真をもとに物語を創作し、創作した作品を写真に撮り、スクールタクトに貼り付けて提出します。カメラ機能を使うことで、紙教材と併用して授業を行うことができます。



- ② 作品を共有して相互交流

共同閲覧モードにして作品を共有し、いいねやコメントを送り合うことで対話的な学習を実現できます。「発言マップ」機能を用いることで、先生は児童生徒間の交流の様子が把握でき、児童生徒主体の授業展開を企画することができます。



※GIGAスクール版では「発言マップ」はご利用いただけません。

ハイブリッド授業・オンライン授業で使える効果的な機能

- ・回答画面一覧・・・クラスの子どもの学習状況をお互いにリアルタイムに見ることができる
- ・コメント、いいね機能・・・子ども達で互いに学習の交流ができる
- ・発言マップ・・・子ども達の交流の様子を先生が可視化してつながりを見ることができる
- ・わかった、わからないボタン・・・子ども達が、理解度の意思表示ができる
- ・提出・採点機能・・・課題を終えた子どもの課題に対して採点、スタンプを押せる
- ・授業チャット・・・全体への連絡や共有がリアルタイムでできる

→各機能の使い方は、「スクールタクトマスター30チャレンジ」(実践編09ページ)をご覧ください。

- ③ 友だちと交流して学習を進めよう
回答一覧画面で友だちのキャンバスを見たり、コメントを送りあったりして、ソーシャルディスタンスを保って学習の交流をします



動画での説明は
[こちら](#)

schoolTakt

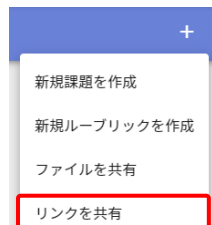
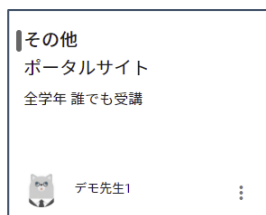
オンライン授業スタイル 全員がオンラインで参加

ポータルサイトとして使う



▲ポータルサイトの例 先生がURLを入力して「リンクの共有」ができる

- ① 授業枠で教科から「その他」を選び、授業名を「ポータルサイト(学びの入口)」にする(下図)。
- ② 子ども達がよくアクセスするURLを「リンクの共有」で設定する。
例) タイピング練習のページや、まなびポケット、Googleクラスルームといったサービスのリンクを表示しておく



iPad×オンライン授業



◆iPadの場合

Split Viewを使うことで、スクールタクトの画面とZOOM画面を並べて使うことができる。

Split Viewとは

画面を、サイズ変更可能な2つの表示に分割して、2つの異なるAppを開いたり、同じAppから2つのウィンドウを開いたりする機能

◆Chromebookの場合

画面を分割して、並べて表示することができる

様々なサービスにアクセスするための入口の役割

タイピング練習・体調管理の入力・1日の連絡・URLの共有などを配信できる

4つのオンライン授業スタイル

① ZOOMなどのビデオ会議でリアルタイム授業

- 先生は、板書を画面共有する代わりに、先生メモに記入する。子ども達は手元で書き込みを確認することができる(実践編02で紹介)。
- iPadなどは、Split View機能などを使って、画面を並べることで、お互いに顔を見合いながら交流することができる(実践編03で紹介)。

② 音声通話などでリアルタイム授業

- 音声のやりとりなので、スクールタクト画面から切り替えずにすむ。また、顔を出すことの抵抗感もなく、授業に集中することができる。
- スクールタクトにある音声通話機能(ベータ版)を使用して、先生が講義をしたり、グループごとに通話したりすることができる(要申し込み)。

※ベータ版のため、動作保証外
端末によって動作しない場合があります



ヘルプページでの
説明は[こちら](#)

schoolTakt

③ YouTubeやYouTubeライブなどの授業

- 授業チャットにYouTubeのリンクや、YouTubeライブで生配信することで、子ども達はキャンバス画面の好きな場所にピックアップで動画を置いて受講することができる(右掲)。

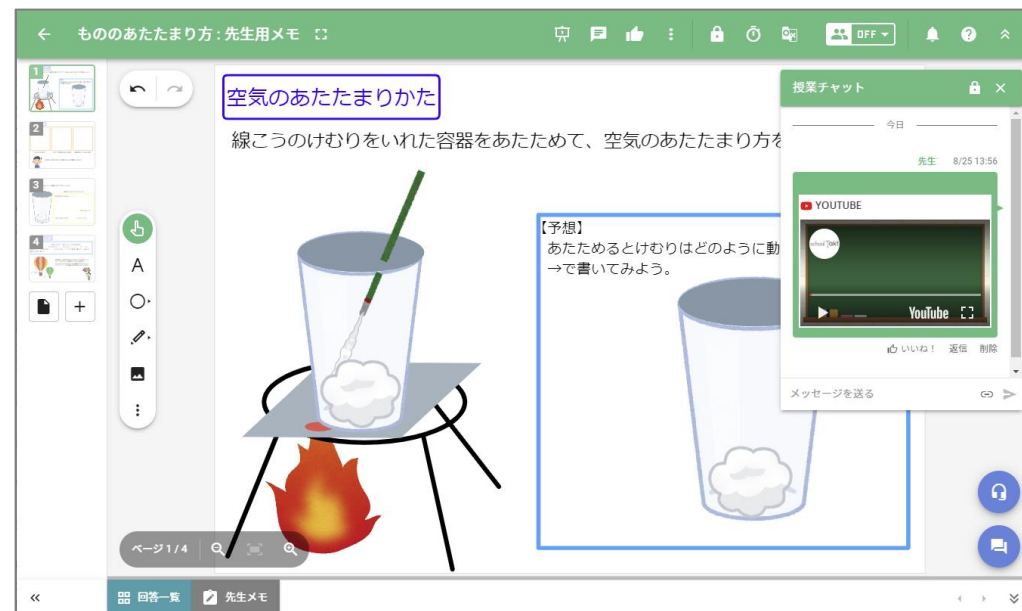
④ スクールタクトで時間になったら学習し、課題を提出

- 期日付きの課題を配布し、子ども達は課題を終えたら提出する。先生は、提出を終えたものに対して、コメントやスタンプ、採点をする。
- 宿題として使うこともできる。



動画での説明は
[こちら](#)

schoolTakt



YouTubeやYouTubeライブなどの授業

- ① 課題を配布し、授業チャットにYouTubeのリンクを貼り付ける。
- ② 子ども達はYouTubeを再生すると、キャンバス画面を操作しながら動画を見ることができる(授業チャットの位置を自由に動かすことができる)。

※授業チャットは、ロックをかけることで【先生のみ】が投稿するように制限をかけることができる。また、授業中のみロックを解除して、クラス全体で意見を交流し、授業後にロックするなどの方法がある。

先生のみがメッセージを送信できます

子ども達に理科の実験の予想を書かせ、実際に、実験動画を配信したり、先生がYouTubeライブで生配信することができる

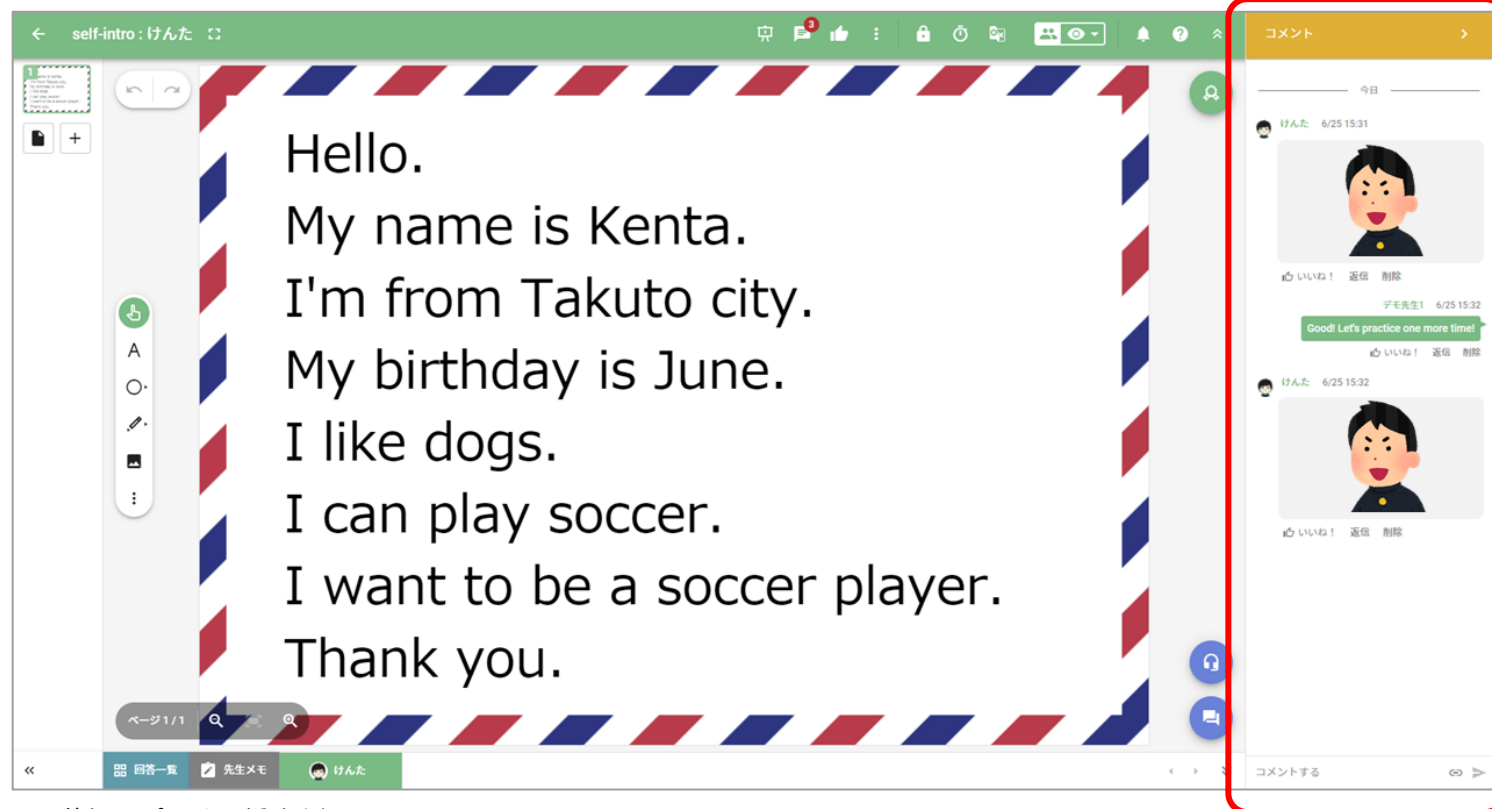
コメント機能で動画を提出

「動画をキャンバスに貼ることはできませんか」という問い合わせをいただきますが、コメント機能に動画を貼り付けることで、より便利に使うことができます。

例えば、英語のスピーチを提出する場合、キャンバス場面にはスピーチ原稿を書き、コメント欄に動画を提出します。

共同閲覧モードにして友だちからコメントをもらった後、改めて動画の撮影をすると、前のスピーチと見比べることができます。また、スピーチを見て、ALTがコメント欄に動画でアドバイスを送ることもできます。

このようにコメント機能を使うことで、やり取りをタイムライン形式で残すことができます。



▲ 英語スピーチの提出例

*500MBまで動画などのファイルを添付できます。
*500MBは720pサイズでの撮影で約10分程度です(端末によって異なります)。
*GIGA版は100MBまでとなります。

コメントする



← 赤枠を押すと
ビデオ撮影することができる

国語の音読 英語のスピーチ 音楽の歌やリコーダー演奏 体育のなわとびの映像
などで活用できる

課題テンプレート配布方法

課題テンプレート配布は、現場で実際に使われている課題をすぐに使うことができるのでとても便利です。その数は、日々増え続け、現在6900点以上です。職場の先生とぜひ「お気に入り」の課題テンプレートを探してみてください。



課題テンプレートを使おう

新規課題を作成
新規ルーブリックを作成
ファイルを共有
リンクを共有

課題テンプレートを選択

全学年 ▾ 全科目 ▾ 全て ▾ キーワード 🔍

検索方法: 学年・教科・範囲をそれぞれ選択し、キーワードを入力します。

学級活動や、それぞれの教科の課題テンプレートを検索して、そのまま配布したり、先生方が修正したりして配布することができる。また、いつも使う課題をテンプレートとして登録することもできる

すぐに使えるテンプレート

今週の予定

日	曜日
	月
	火
	水
	木
	金

学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 今週の予定 🔍

いっしょに遊ぶよ

にち	ようび
	げつ
	か
	すい
	もく
	きん

学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 今週の予定 🔍

おしらせ

月	日
	曜日

学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: お知らせ 🔍

何か困ったことや相談したいことがあったらここに書いてね。

ここに書いたことは教員たちからは見えません。
保護者の先生に相談するのではありません。

学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 健康相談 🔍

「課題の複製」で 毎日繰り返し使える！

課題を複製しよう

隣のクラスと同じ教材を使ったり、教材作りを分担したりした場合、「課題の複製」をすることで、すぐに教材を共有することができます。

また自分の作った課題でも、同じように課題の複製をすることで、毎日同じ課題を使うことができます。

- ① 課題の右下縦3点マークをクリック
- ② 「課題の複製」をクリック
- ③ 自分の教科・授業・単元を選択

また、「全授業」タブから、他の先生の授業枠を開いて、課題を複製することで、自分の授業枠に課題をコピーすることができます。

同じ学年で、同じ教科を分担して受け持っていたり、学年内で共通の教材を使いたいときに、お使いいただけます。



▲左記①～③の説明

毎日同じ課題を繰り返し使用することができる。専科で他のクラスにも同じ課題を配布することができる

毎日使えるテンプレート

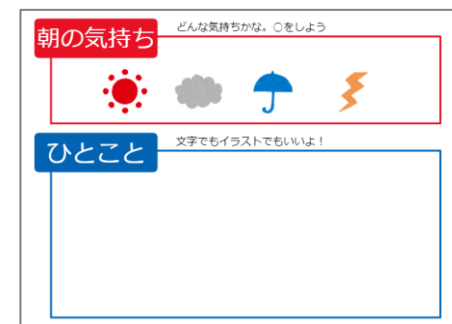
朝ノート

①朝の会でテンプレートを配布

課題テンプレートから「朝ノート」で検索してテンプレートを配布します。児童は朝の気分を文字・イラストなどで表現します。

②朝の気分をクラスで共有

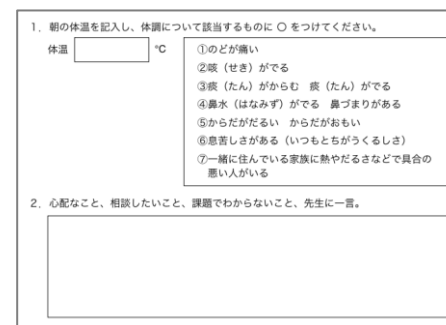
共同閲覧モードにし、お互いにコメントを送り合います。発言が苦手な児童生徒も自分を表現しやすくなったり、普段関わることの少ないクラスメイトともスクールタクト上で交流できたりと、クラス内の交流を活性化することができます。



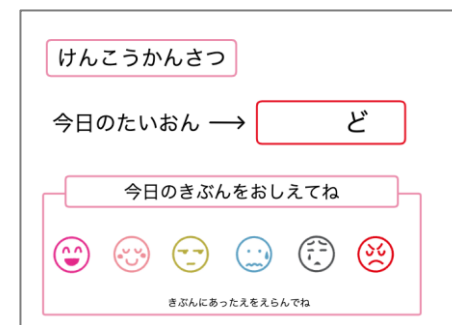
学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 朝ノート 🔍



▲低学年での記入の様子



学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 健康観察 🔍



学年: 全学年
教科: 全科目
範囲: 全て
キーワード: 健康観察 🔍

まなびポケットとの連携



▲まなびポケットの「チャンネル」に投稿します。

チャンネルにURLを貼り付けて、課題に誘導する

まなびポケットをご契約の場合、まなびポケットの「チャンネル」機能を使って、課題のURLを貼り付けます。

複数の課題がある場合やスクールタクト以外の課題がある場合など、チャンネルの投稿欄にURLを貼り付けることで、児童生徒がスムーズに課題にアクセスすることができます。

まなびポケットでは、その投稿を「課題」に設定したり、「予約投稿」をすることができます。

*チャンネルは、先生がクラス内に自由に作ることができます。また、グループごとにチャンネルを設定できます。

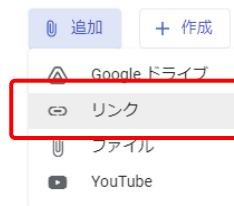
Google Classroomとの連携



▲Google Classroomの連携
スクールタクトから自動的に課題が配信されます

GoogleとのSSO連携をしている場合

- ①スクールタクトで作成した授業枠が、自動的にGoogle Classroomに反映されます。
- ②Google Classroomに登録した児童生徒がスクールタクトに紐付けられます。
- ③スクールタクトで課題を作成・配布すると、Google Classroom内に自動的に課題が配信されます。
- ④児童生徒はGoogle Classroomから課題にアクセスし、課題を提出します。
- ⑤スクールタクトで課題を提出すると、Google Classroomも課題提出済みとなります。
- ⑥先生がGoogle Classroomで採点して返却することができます。



GoogleとSSO連携をしていない場合、課題を作成し、左の「追加」の「リンク」からスクールタクトの課題のURLを挿入すると、配信することができます。ただし、SSO連携と違い、課題の提出・返却はGoogle Classroomとスクールタクトで連携されません。

「連絡ツール」としての【まなびポケット】や【Googleクラスルーム】
「授業ツール」としての【スクールタクト】

という使い分け方法



活用ライブラリ

操作方法の動画や実践指導案など、スクールタクトを
使えるようになるためのライブラリ集(毎月更新)



▲説明動画や指導案

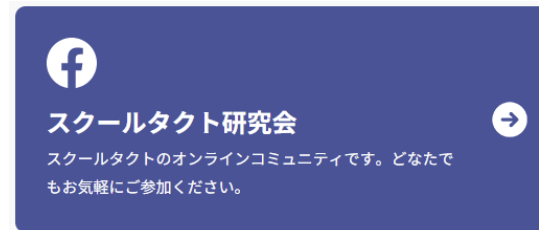


活用ライブラリは
[こちら](#)
schoolTakt



学び合いチャンネル

操作方法や実践方法を紹介しています。
詳しい操作の仕方を、動画を見ながら
体験できます。



スクールタクト研究会

スクールタクトを使っている先生方が
お互いに実践を紹介したり、悩みや
ノウハウを共有したりします。



▲ライブラリ内で一番人気の
「スクールタクトマスター30チャレンジ」

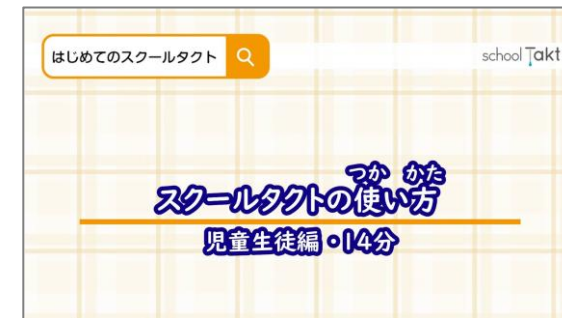
多くのコンテンツを毎月掲載! ぜひご覧ください



▲校内研修用の
「これならできる! schoolTakt」冊子



▲児童生徒用の「スクールタクト検定」
課題テンプレートで検索🔍



▲児童生徒用のスクールタクトの使い方
説明動画。始めて使うときに流すだけ!